



観音寺市議会だより

KAN-ONJI CITY COUNCIL No.42 2024.8.1

ミライエ

観音寺の輝く未来へ 市議会の動きをわかりやすくお伝えします

6月定例会のあらまし	2
一般質問	4
審議結果	8



人口 56,615 人
(2024.7.1現在 内外国人1,389人)
(対4月比 180人減)

お知らせ

本議会だよりでは、提出議案の一部を掲載しております。その他、議案などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。



定例会が5月30日から6月18日までの会期で開かれた。
一般質問は6日に5人、7日に5人が市政についてたどした。
各常任委員会では、付託された12議案について審査した。
最終日には、各常任委員会付託議案を原案のとおり承認・可決・同意した。

6月定例会の主な議案

Pick up!

— 議案第39号 —

専決処分の承認について（令和6年度観音寺市一般会計補正予算（第1号））

定額減税補足給付金支給事業

4億9,340万円

- 国が実施する定額減税4万円（所得税3万円、住民税1万円）について、減税額が令和6年度の課税額（所得税および住民税額）を上回った場合に差額（端数は万単位に切り上げる）を給付金として支給するもの。

物価高騰対応重点支援給付金支給事業

2億258万円

- 物価高騰により特に家計への影響が大きい低所得世帯のうち、令和6年度に新たに住民税非課税となる世帯および均等割のみ課税となる世帯に対し、1世帯あたり10万円の給付金を支給するもの。加算対象のこども（平成18年4月2日～令和6年9月30日生まれ）を含む世帯に対しては、対象のこども1人あたり5万円が加算される。

Pick up!

— 議案第40号 —

専決処分の承認について（令和6年度観音寺市下水道事業会計補正予算（第1号））

債務負担行為の補正

期間：令和7年度から令和8年度 限度額：4,708万円

- 観音寺市下水道事業会計において、国の電工単価の見直しに伴い、下水道施設維持管理業務の委託料の後年度の負担額に予算措置を行うもの。

Pick up!

－議案第41号－

観音寺市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、条文を改めるもの。

Pick up!

－議案第43号－

市道路線の認定について

- 路線名：茂木浄水場線（茂木町5丁目甲524番22地先から甲482番5地先まで）

Pick up!

－議案第44号－

財産の取得について

- 消防ポンプ自動車を取得するもの。
- 観音寺市消防団第6方面隊五郷分団

Pick up!

－議案第45号－

令和6年度観音寺市一般会計補正予算（第2号）

地域こどもの生活支援強化事業

182万円

- 子ども食堂を新たに開始する団体への運営委託料および施設改修に対する補助金を増額するもの。

観音寺ブランド認証推進事業

88万円

- 千葉県幕張メッセで開催される「スーパーマーケット・トレードショー 2025」に市のブースを確保し、観音寺ブランドの価値向上を図るもの。

予防接種事業

1億3,492万円

- 高齢者等を対象にした新型コロナウイルスワクチンの定期接種を秋頃から開始するため、必要経費を計上するもの。

接種対象者 ① 65歳以上の人

② 60歳以上65歳未満であり一定の基礎疾患を有する人、または下記に該当する人

- ・心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活を極度に制限される
- ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能である

学校保健特別対策事業

小学校 89万円

中学校 16万円

- 小中学校の教室等を効果的に換気し、安全・安心な学習環境を確保するため、国の補助金（補助率 1/2）を活用し、CO₂モニター等の換気対策用備品を購入するもの。

児童手当事業

340万円

- こども未来戦略に基づき、児童手当の抜本的拡充を令和6年10月から実施し、拡充後の初回支給を令和6年12月とするため、準備経費を計上するもの。

◀児童手当についての変更内容▶

- ①所得制限の撤廃
- ②多子加算について第3子以降3万円とする
- ③高校生年代までの支給期間の延長
- ④支払月を年3回から偶数月の年6回とする

災害対策費

89万円

- 能登半島地震の際、緊急物資として提供した物資（非常用圧縮毛布、防災用トイレ処理セット）を補充するため



質問 茂
自民新国会

認知症予防等、要介護にならないための具体的な取り組みを問う

答 弁

認知症に関する正しい知識を学べるよう啓発活動を行いながら、地域の関係団体等と連携を図り事業を推進する

〔質問〕脳卒中と認知症の危険因子は共通している。脳卒中の危険因子は生活習慣病で、高血圧・糖尿病・脂質異常・喫煙・過度飲酒・心房細動・慢性腎臓病・肥満・不活発（代謝が落ちた状態）である。脳卒中は、これらの危険因子を全て是正すれば90%は予防可能とされている。認知症予防など、要介護にならない為の具体的な方策を問う。

〔答弁〕地域包括支援センターにおいて「観トレ」や「銭形貯筋体操」、出前講座による「認知症サポーター養成講座」など、運動指導や生活習慣病予防、認知症に関する正しい知識などを学べるような啓発活動を実施している。また、認知症の方およびその家族、地域住民が集う拠点づくりの支援にも取り組んでおり、認知症と診断されても、住み慣れた地域で安心して住み続けることができるよう、地域の関係団体などと連携を図りながら今後も事業を推進する。





白川 雅仁
公明党

亡くなられた後も個人の尊厳が守られる終活支援制度の構築を

答 弁 終活関連情報の登録制度を検討する

【質問】 身寄りのない高齢者が、人生の終盤を安心して生き、亡くなられた後も個人の意思が尊重されるよう、葬儀や納骨などの情報を生前に自治体に登録し、万一の時は、病院や警察など関係機関に自治体が情報を開示し、本人の意思の実現を支援する制度を構築していただきたい。
【答弁】 緊急連絡先やエンディングノート^{※1}の保管場所、葬儀の生前契約など、終活関連情報の登録制度の導入を検討する。

高付加価値コンテナ・トレーラー導入による新「道の駅」の機能強化と導入に向け、関係機関と協議する

【質問】 高付加価値コンテナ・トレーラーを道の駅で活用することは、平常時にはサービスの向上や個別課題の解決に、災害時には機動的な支援のための有効な手段となる。主な用途はトイレ、シャワー施設、支援物資の供給施設、職員の休憩場所、医療拠点などがある。基本計画の策定が進む新「道の駅」にもこれらを導入してはどうか。

【答弁】 災害時には、迅速な対応と広範な災害支援に有効な手段となることが期待できるため、導入できるよう運営事業者や関係機関などと協議を行う。



大平 直昭
創風会

スマホ等を活用した放課後児童クラブの弁当提供について

答 弁 夏休みに実証実験を行うべく準備中

【質問】 一昨年前、一般質問で提案したスマートフォンなどのアプリを活用した放課後児童クラブの弁当提供の取り組みについて進捗状況を伺う。

【答弁】 保護者の子育ての負担軽減と仕事などの両立を支えていけるよう取り組みの中で、システム事業者を介したスマートフォンなどによる注文、料金決済などの仕組みの活用に加え、保護者が希望する価格帯での提供と各教室への配送が可能な弁当事業者と概ね協議が調った。市内公立12教室と観音寺市社会福祉協議会が開設している一ノ谷なかよし教室の計13教室において、今年の夏休み期間中における教室開設日の月曜日から金曜日について実証実験を行うべく、準備を進めている。



岸上 政憲
自民新国会

「第3次ヘルスプラン観音寺市健康増進計画及び食育推進計画」策定に伴い、葉酸摂取の推奨を提案する

答 弁 第3次ヘルスプラン推進会議にて情報提供を行い、協議したい

【質問】 第3次ヘルスプラン観音寺市健康増進計画及び食育推進計画の取り組みとして、葉酸摂取の推奨を取り入れるべきと提案する。他市の取り組み「葉酸プロジェクト」を参考に地産地消を進めることで、健康寿命を延ばし食育にもつながると期待されるが、市の考えを問う。
【答弁】 バランスの良い食事などを引き続き啓発するとともに、市民や関係団体で構成する「第3次ヘルスプラン推進会議」に情報提供を行い協議していきたいと考える。

※葉酸とは 水溶性のビタミンB群で、人の体内では十分な量を作る事が出来ない。
《葉酸不足による影響》

DNAの合成が障害され、赤血球の成熟異常により貧血が起こる。動脈硬化・認知症・脳卒中のリスクが高まる。胎児の場合、神経管閉鎖障害（脳が正常に形成されない無脳症や脊椎が飛び出る事により弊害が出る二分脊椎）の発症リスクが高まる。

《葉酸を多く含む食材》

観音寺市で多く生産されているブロッコリーやほうれん草に多く含有されている。



※1 エンディングノート=自分の人生の終末について、家族や友人に伝えておきたいことや自分の希望などを書き留めておくノート。遺言書とは違い法的な強制力はない。



石山 秀和
公明党

スポーツ競技大会出場小中学生への補助をたただす

答 弁

引き続き、県内他市の報奨金の動向を踏まえ、必要に応じて見直しの検討を行う

〔質問〕隣の三豊市の報奨金突出しており、政策の違いが数字に表れている。今後の対応を伺う。

〔答弁〕三豊市を除く他市と比べ、個人の報奨金は同等ないし高い水準である。昨年、団体出場で出場人数に応じて上限10万円に増額する見直しを行った。今後は、県内他市の動向を踏まえ、これらとの均衡を考慮しながら必要に応じて見直しの検討を行っていく。

新「道の駅」をたただす

答 弁

市内の魅力を知り、感じ、アクセスできる設備や情報発信施設の整備を検討している

〔質問〕充分なノウハウを持つ企業の公募、新「道の駅」の特徴、既存道の駅との差別化、建設場所についてたただす。

〔答弁〕継続的なサービス提供に向け、運営事業者を基本設計までに選定する。市民や観光客の憩いの場であり、地域産品をアピールする場でもあり、さらに市内の魅力にアクセスできる機能や、情報発信機能も付加できれば、県内初の道の駅となり得る。アニメ「結城友奈は勇者である」の聖地「道の駅とよはま」とは差別化でき、加えて相乗効果を発揮させるよう今後検討する。建設候補地の再考は考えていない。



藤田 均
無所属(共産)

西公民館を南公民館の敷地に統合した後、両館の活動はどうなる

答 弁

施設は統合だが独自活動は維持される

〔質問〕統合せず個別の建て替えを提案する立場から伺う。講座数はどうなるのか。部屋数や駐車場数は足りるのか。



〔答弁〕統合後も両館の独自活動の維持を基本としつつ、施設を効率的に利用することを前提として、必要かつ適正な部屋の広さや数、駐車場について検討する。両公民館区の自治会連絡協議会や利用者団体などから意見を聞き、基本構想にまとめる。インフルエンザウイルスを含む排水流出事故について

答 弁

企業から人体に影響はないと報告あり

〔質問〕事故発生の経緯、人体への影響、市民への説明会について伺う。

〔答弁〕事故前日にワクチン製造工程でトラブルが発生し、復旧対応中の人為的ミスにより排水が流出した。事故後に行った周辺河川の水質検査の結果、事業所外では全て陰性であることが確認された。企業は、事故直後に地元2水利組合と4自治会へ説明を行い、市民への説明会は必要ないと結論づけた。今後、国や県と協議し、再発防止策を確実に実行していくと聞いている。また、市も必要に応じて確認する。



篠原 重寿
立志会

森林環境税の有効活用で、脱炭素社会を

答 弁

県産材の利用促進を通じ、地域の森林を守り育てる

〔質問〕森林は二酸化炭素を吸収し、建築物への木材利用は脱炭素の役割を担う。令和3年「木材利用促進法」の改正により、公共建築物のみならず民間建築物も法の対象となった。①市の木材利用拡大の現状は。②国は森林環境税(年間1000円/人)を今年度導入し、地方譲与税として自治体へ配分する。本市における森林環境譲与税配分額と、使途は。③今後の森林整備への取り組みは。



〔答弁〕①令和4年度以降では、紀伊分団屯所生活環境課事務所、明星集会場を建設。今年度は木之郷分団屯所の木造建築を予定。建築物一般への利用拡大は、市HP、広報紙などを通じて木材利用の普及・啓発に努める。②今年度は約1100万円配分される見込み。間伐や造林などの森林整備施策、人材育成や担い手確保などの施策に充てる。③森林所有者の意向を踏まえ、森林経営計画への誘導や、経営管理権の受託・集積を促進し、整備面積の拡大に取り組む。



※4 タウンミーティング＝地域住民の生活に関わる事を話題とし、行政や地域住民が直接対話をする集会。

※5 「格好いい名前の都市」ランキング＝gooランキング「日本一カッコいい!市の名前ランキング」



豊浦孝幸
創風会

新道の駅と中心市街地（JR
観音寺駅を中心とする旧観音寺
町エリア）活性化との関連は

答 弁

新「道の駅」の整備により中心市街地等への回遊性を高める

【質問】新「道の駅」と並行して、コンパクト&ネットワーク※2の確立を急ぐべきである。立地適正化計画などで進めるとのことだが、人口の集約に膨大な時間を要し、人口流出や人口減少のスピードに間に合わないと思われる。商環境の整備と住環境の充実があつてこそ、地域に人が集まると考える。

住民・事業者・官公庁・福祉団体などが集まり、「このエリアにどのような機能、環境を作ることが、シビックプライド※3の醸成や若い世代の人口増加につながるか」を共に考える、タウンミーティング※4を始める必要があると考えるが、市の考えは。

【答弁】中心市街地の活性化は、商店街の活性化に留まらず、都市機能や居住機能の集約による人口集積などを図り、コンパクトで持続可能なまちをつくることだと考える。

また、地域住民が生まれ育った愛着のある地元で住み続けられるよう、JR観音寺駅や新「道の駅」を整備することにより、中心市街地などへの回遊性を高め、交流人口の拡大を図ろうと取り組みを進めている。中心市街地のさらなる活性化に向け、今後関係部署と連携しながら模索・検討していきたい。



伊丹 準二
自民新政治家

観音寺市における人口減少・少子高齢化に伴う空き家問題を問う

答 弁

空き家バンク制度を活用した移住促進策を進め、空き家解消に向け取り組みを推進する

【質問】観音寺市における人口減少・少子高齢化が進んでいる。豊浜地区も過疎地域に認定された。「売り家」の看板を見る度に、「観音寺市の魅力・人気」について考えさせられる。市長の故郷である五郷地区も含め、地域を賑わせ人口の増加につなげるにはどうしたら良いか。本市の空き家の現状を伺うと共に、市の考えを問う。

【答弁】市が把握している空き家は、令和6年3月末現在1768件である。観音寺市は、民間企業が調査した「格好いい名前の都市」のランキング※5では全国3位になった。五郷地区は中山間地域であり過疎地域である。地元では「五郷里づくりの会」が、地域内で盛り上がるだけでなく、地区外の方も参加するイベントを行うなど、地域を盛り上げる取り組みを続けている。交流人口を増やすこと、点在する観光資源を「一点から面」にすることが大事である。また、現状は日帰り観光が多いが、滞在型観光を主軸にできるよう、インフラ整備も含め複合的な整備を進めたいと考えている。



大久保隆敏
立志会

新「道の駅」に木のドームを！

答 弁

木の特徴を活かし、木のぬくもりを感じられる道の駅の整備を目指す

【質問】新「道の駅」に直径60メートルの木造ドームを整備することを提案する。本市の宝である分収林の杉や松を使用すると、材料費を通常の2割程度に抑えられる見込みである。



写真：出雲ドーム
提供元：NPO法人出雲スポーツ振興21

の試合、大相撲、子どもから大人まで楽しめるサーカスなどの誘致により、開催時の集客が期待できる。また、防災拠点としての機能も備えられるため、是非検討いただきたい。

【答弁】夢のある素晴らしい提案であり、分収林を活用することは、地域のためにもなると考えている。3000人収容可能な木のドームの整備については厳しいが、木は人にぬくもりやあたたかさ、安らぎを与えることができる。建物の壁など内装材やレストランの机、椅子、屋内のキッズルーム、休憩所などに木材を積極的に活用し、木のぬくもりを感じられるような、道の駅の整備をめざしていく。



※2 コンパクト&ネットワーク=生活サービスと居住を集約して各機能の向上を図り、そこに公共交通ネットワークの再構築をプラスして利便性の高い都市を目指す政策手段。

※3 シビックプライド=自分が住んでいる地域に対する誇りや愛着。

掲載できなかった個人質問

氏名	質問件名
詫間 茂	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員給与特別措置法（働き方改革）について ● 観音寺市民の健康状態について ● 自治体職員の早期退職について ● 新「道の駅」について
白川 雅仁	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家バンク制度の充実について ● コミュニティナース制度について
大平 直昭	<ul style="list-style-type: none"> ● 带状疱疹予防接種の助成について ● デマンド交通の実証実験について

氏名	質問件名
岸上 政憲	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の発信力とその強化について ● 高齢者福祉制度について
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市の児童生徒が大阪万博へ無料招待される件について ● 新「道の駅」事業について ● 他自治会ゴミ置き場に、未分別ゴミを放置している件について
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ● 戸籍の広域交付について ● 地方自治法改正に伴う国と市の関係について

議案の審議結果

※提出議案などの詳細は、市議会ホームページ「提出議案等」をご覧ください。

令和6年第2回（6月）定例会

● 全会一致の議案

議案番号等	議案名	議決結果
議案第36号	専決処分の承認について（観音寺市税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第37号	専決処分の承認について（観音寺市都市計画税条例の一部を改正する条例）	//
議案第39号	専決処分の承認について（令和6年度観音寺市一般会計補正予算（第1号））	//
議案第40号	専決処分の承認について（令和6年度観音寺市下水道事業会計補正予算（第1号））	//
議案第41号	観音寺市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第42号	観音寺市下水道条例の一部改正について	//
議案第43号	市道路線の認定について	//
議案第44号	財産の取得について	同意
議案第45号	令和6年度観音寺市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第46号	令和6年度観音寺市下水道事業会計補正予算（第2号）	//
議案第47号	工事請負契約の締結について	同意

● 賛否の分かれた議案

※議長には可否同数の場合のみ裁決権があります。
 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 除…除斥 退…退席

議案名等	議員名													議決結果				
	三好優子	藤田均	篠原和代	白川雅仁	石山秀和	篠原重寿	大久保隆敏	詫間茂	岸上政憲	大矢一夫	大賀正三	伊丹準二	豊浦孝幸		立石隆男	合田千佳子	大平直昭	井下尊義
	無	無共	無自	公明党	立志会			自民新政会				創風会						
議案第38号 専決処分の承認について（観音寺市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

※会派別五十音順

※会派に所属していない議員…自由民主党、日本共産党、無所属

総務委員会 視察報告

■京都府綾部市（令和6年5月7日）

◆空き家活用を含む移住・定住事業について

総合計画において定住促進を最重要施策に位置づけ、「綾部市住みたくなるまち定住促進条例」を制定し、「オールあやべ」で様々な取り組みを実践している。「移住立国プロジェクト」の推進や空き家流動化の促進による定住者の確保、先輩移住者を中心に構成される「こころへのことつたえ隊」の拡充による新規移住者支援の推進など、独自の移住定住施策を展開。近年では30歳・40歳の綾部市出身者や在住者を対象に「あやべ3040成人式」を開催するといったユニークな事業を実施している。

◆コミュニティナース事業について

看護師としての知識や経験を生かし、住民の健康づくりや地域のコミュニティづくりを支援する医療人材を「コミュニティナース（通称：コミナス）」として市が雇用している。全国初の自治体雇用型の医療人材職員として、国の実施する地域おこし協力隊の制度を活用し、平成29年に3名のコミナスが着任した。市内3地区で活動するコミナスは健康相談や診療所待合室への訪問を実施。また、月1回発行の「コミナス新聞」を関係地区に全戸配布し、健康づくりに関する情報や地域の話題を提供している。

■京都府宮津市（令和6年5月8日）

◆道の駅 海の京都 宮津について

中心市街地活性化の拠点である「浜町エリア」の賑わいづくりに向けた取り組みの一環として、道の駅が段階的に整備された。平成21年には宮津産野菜や地酒、土産物などを取り揃えた「宮津まごころ市」が整備され、平成27年には観光案内所、平成29年には地元商工会議所が主体となり、国の事業を活用した「おさかなキッチンみやづ」がグランドオープンした。これらの3施設を「宮津まちなか地域振興拠点施設」として、民間事業者が一体的に管理運営することで、市街地の賑わい創出のみならず、天橋立などの観光地との連携も盛んに行われている。

■京都府京丹波町（令和6年5月9日）

◆道の駅 京丹波 味夢の里について

新たに開通する京都縦貫自動車道の通行車を地域資源と捉え、京丹波パーキングエリアと一体的となった道の駅を平成27年に整備した。町内外から多数のリピーター客を呼び込む人気の道の駅である。また、道の駅のすぐ隣にはマリオットホテルが隣接している。

マルシェには丹波大黒豆や丹波くり、^{だいごくほん}大黒本しめじなど豊富な農産物のほか、京都全域の土産物が揃う。地元食材を扱ったレストランも人気で、屋外イベント交流スペースも積極的に活用されている。オリジナル商品の開発にも力を注ぎ、令和5年度には計画の約2倍の来客実績を記録した。



建設経済委員会 視察報告

■東京都豊島区 (令和6年5月14日)

◆マンガ・アニメを活用したまちづくりについて

豊島区では南長崎地域と一体となり、トキワ荘マンガミュージアムを中心に、回遊性を持たせたマンガによるまちづくり「南長崎マンガランド事業」を進めている。トキワ荘マンガミュージアムに面するトキワ荘通り（南長崎通り）には、ミュージアムグッズが購入できる「トキワ荘通りお休み処」や、トキワ荘関連の絶版となった貴重本も閲覧できる「トキワ荘マンガステーション」が整備されている。

■千葉県館山市 (令和6年5月15日)

◆道の駅 グリーンファーム館山について

「体験価値の高い道の駅」をコンセプトに地域の観光と農水産業をつなぎ合わせ、農業や食の体験ができる。当初は公設卸売市場の建設用地であったが、計画廃止後、「農業を中心とした交流拠点施設」として用地活用方針が決定した。令和元年には地元出身の前澤友作氏より20億円のふるさと納税があり、まちづくりの為に基金を創設。「公募型プロポーザル」により3つの事業者から企画提案書が出され、事業者選定委員会の審査を経て優先交渉権者を決定し、令和6年2月にオープンした。

■千葉県鴨川市 (令和6年5月15日)

◆里のMUJI みんなみの里について

中山間地のコミュニティでは、進む人口減少や高齢化、それに伴う耕作放棄地の拡大や獣害といった課題に直面している。鴨川市総合交流ターミナル「みんなみの里」は、地域の農村資源を活用して都市との交流人口増加を図り、地域農業の振興および活力ある地域の形成を目的として平成11年3月に設置された。

良品計画は平成26年に鴨川市内沼北集落において「鴨川里山トラスト」活動を開始し、地元住民と都市部の無印良品ユーザーがつながるきっかけを作ってきた。平成29年4月には鴨川市と「地域活性化に関する協定」を締結し、「みんなみの里」リニューアルプロジェクトに参加。平成30年4月のリニューアル時に「無印良品」店舗および「Café & Meal MUJI」をオープンし、指定管理者として地域企業と連携し管理・運営している。



■千葉県千葉市 (令和6年5月16日)

◆民間活力を活かした公園施設について

千葉市が令和元年に策定した「千葉公園再整備マスタープラン」の一環で、民間の資本やアイデアを活用する「パークPFI（公募設置管理）」制度を採用し、令和5年度からリニューアル整備が始まった。

約8,000平方メートルの芝生広場を囲むように「おおよね」「こやね」という愛称の屋根付き広場、飲食店や24時間営業のフィットネスジム等の施設が並ぶ。全長250メートルのコースを有する「パントラック」は、マウンテンバイクやスケートボードの国際大会を開催できる規格を備える。





市民フォーラム2024開催報告



テーマ 災害から学ぶ「命を守る行動」と「生き延びるための行動と備え」

令和6年6月30日(日) ハイスタッフホール多目的ホールにて、防災に関する市民フォーラムを開催し、207名の方にご来場いただきました。今後市議会ホームページなどで、より詳しい開催報告をお届けできるよう検討しておりますので、続報をお待ちください。



1部 (前半) パネルディスカッション

パ
ネ
ー
ー

国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所 工事品質管理官 太田 秀明 様
香川県警察高松北警察署地域第二課長 中国四国管区機動隊第三大隊副官 小川 和也 様
公益社団法人土木学会 災害マネジメント研究小委員会副委員長兼幹事長 角崎 巧 様
観音寺市総務部危機管理課 防災専門官 土井 明 様



太田様、小川様からは、能登半島地震の被災地応援活動時に撮影した写真を投影しながら、住宅・道路・河川など街全体がどのように被災するのか解説があり、どのような行動や備えが必要か説明がありました。角崎様からは、防災対策の歴史や事前対策の限界について触れ、観音寺市の地質的な特徴と想定される被害を踏まえ、自分たちが持つべき意識についてお話がありました。続けて土井様より、観音寺市で予想される震度や液状化被害の分布を示した地図を投影しながら、発災時の行動や意識すべき事項について行政の立場から解説がありました。

2部 (後半) 防災展示体験 4つのブースごとにテーマに沿った備蓄品や防災関連施策を紹介しました。

- ブース① 備蓄品展示「命を守る備え」
土井 明 様(観音寺市防災専門官)より
- ブース② 備蓄品展示「生き延びるための備え」
岸上 政憲 議員(観音寺市議会)より
- ブース③ 備蓄品展示「アイデアで楽しく備える」
黒川 太一 様(香川県防災士会)より
- ブース④ 市・県施策紹介、災害関連製品組み立て体験

《来場者アンケートより》
印象的だった物や備えようと思った物は？

- ・レトルト食品を温める物 (ヒートパック)
- ・備蓄 (水など) のローテーション

- ・すいろう水嚢と電池チェンジャー
- ・食品用ラップ、浄水器

- ・ブースに貼っていた「災害は怖いが、防災は楽しい」というフレーズ
- ・無洗米をペットボトルに入れて備える

9つのレーンに分かれて、担当議員が下記内容の紹介を行いました。

市 施 策	1	民間住宅耐震対策支援事業補助金	市担当課：1～3 建設課、4～5 危機管理課 パンフレットを配布し、内容の説明を行いました。
	2	耐風改修対策補助金	
	3	民間ブロック塀等撤去補助金	
	4	防災ラジオ無償貸与	
	5	家具類転倒防止対策促進事業補助金	
県 施 策	6	災害用バンダナ配布 (聴覚に障がいのある方)	市担当課：社会福祉課 バンダナを展示し、用途や使用者への配慮について説明しました。
	7	防災アプリ「香川県防災ナビ」	アプリのインストールや初期設定の補助、機能の説明を行いました。
組 立 体 験	8	段ボールベッド組み立て体験	担当議員が補助しながら、製品の組み立てと使用感を体験していただきました。
	9	簡易トイレ組み立て体験	



たくさんの方々のご来場ありがとうございました！



表紙写真の紹介

「涼しい音色」

観音寺総合高等学校 2年 よしざね りこ

父と出掛けた時に撮った一枚です。風鈴に描かれた細かく綺麗な模様がキラキラと並んで輝いていて、穏やかで落ち着いた音色とともにとても印象に残っています。優しく涼しげな音を写真から感じてもらえると嬉しいです。



一般質問をスマートフォン・タブレットで視聴できます

市議会では、本会議などの様子をインターネットで生中継・録画放映しています。パソコンやスマートフォン・タブレットなどにより、気軽に視聴していただくことができます。また、より多くの方に視聴していただくための取り組みとして、本紙には各質問者の録画映像にリンクするQRコードを掲載しております。

ぜひご活用ください。

※QRコードの読み取りには専用アプリのインストールが必要です。
※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。



委員長	三好 優子
副委員長	豊浦 孝幸
篠原 重寿	
詫間 茂	
白川 雅仁	
合田千佳子	
岸上 政憲	

広聴広報委員会

24日	13日	12日	11日	9・10日	2日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議

9月定例会の予定

編集後記

6月の定例会の一般質問では、市民生活に直結する課題について10名の議員が登壇し、28項目にわたり質問しました。

特に市民の関心の高い新「道の駅」に関する質問を6名の議員が行い、場所の問題・運営方法等について、「市民の皆様・市職員・市議会の声を十分に聞き、慎重に進めて欲しい」という意見が出ました。今後、市の動向に注目したいと思います。

さて、本市議会では6月30日に市民フォーラムを開催しました。『災害から学ぶ「命を守る行動」と「生き延びるための行動と備え』をテーマに、パネルディスカッションと防災展示体験の二部構成で開催し、207名の方にご来場いただき、大変好評のうちに終了することができました。当日ご来場いただいた方には感謝いたしますとともに、得た気づき等を是非周りの方と共有し、協力して有事に備えていただきたいと思います。

8月4日には、夏休み親子議場見学会を実施します。次号以降の議会だより等で開催の様子をご報告できればと考えております。



広聴広報委員会委員

詫間 茂

